



横浜市消防局
YOKOHAMA FIRE BUREAU



YOKOHAMA FIRE BUREAU

フロア構成	p.03
受付・エントランス	p.05
消防本部機能	p.07
防災機能	p.09
執務環境・新しい働き方	p.11
建築概要	p.14



横浜市消防局
YOKOHAMA FIRE BUREAU

Floor composition

フロア構成



Information

7F 総務部

6F 中央監視室

5F 本部会議室

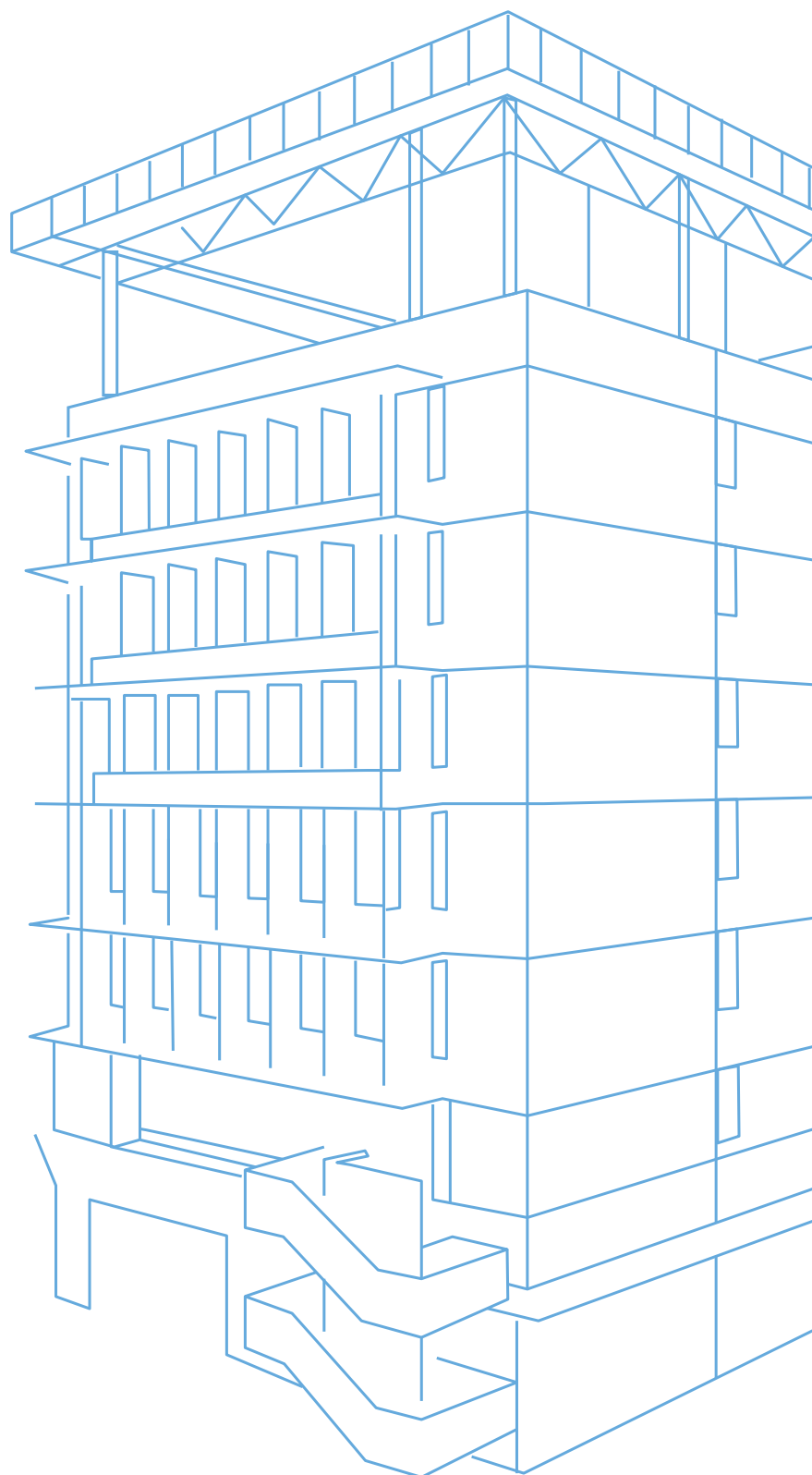
4F 消防司令センター 本部運営室

3F 警防部 救急部

2F エントランス(受付) 予防部

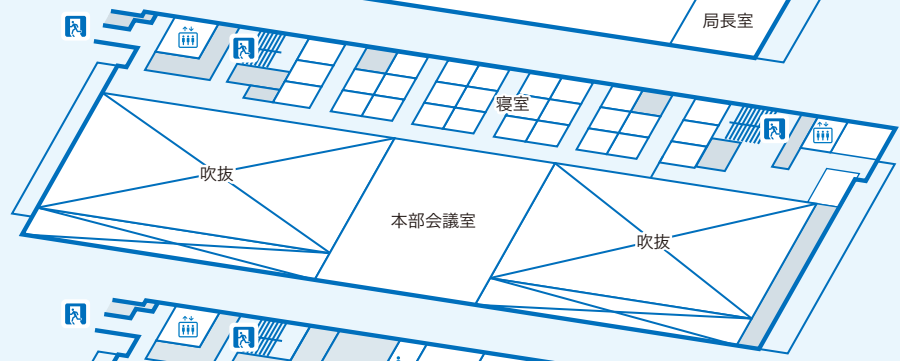
1F 消防車両用ガレージ

B1F 来庁者用駐車場

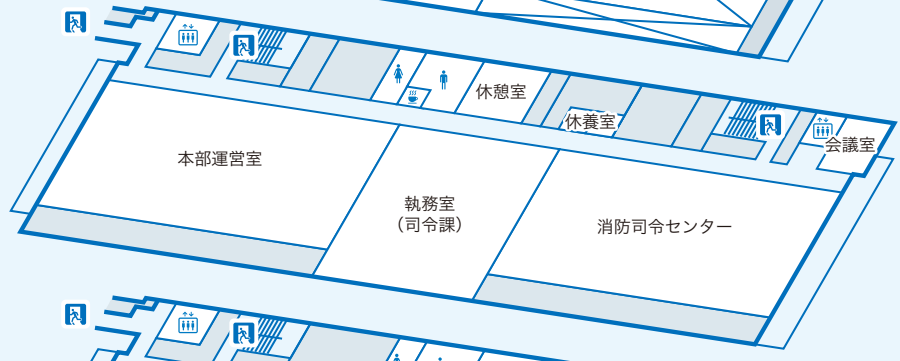




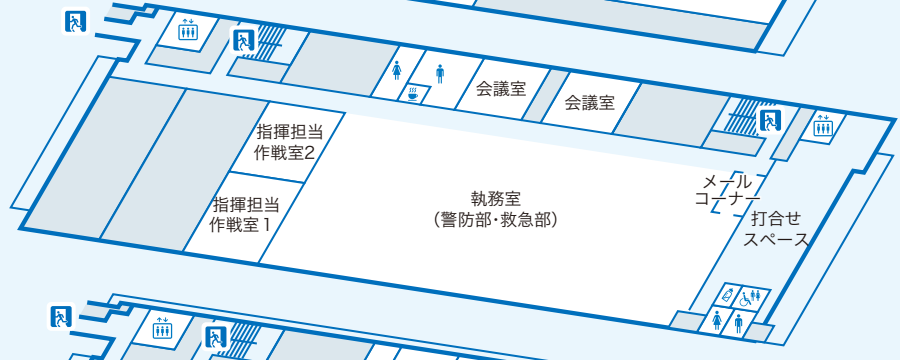
7F



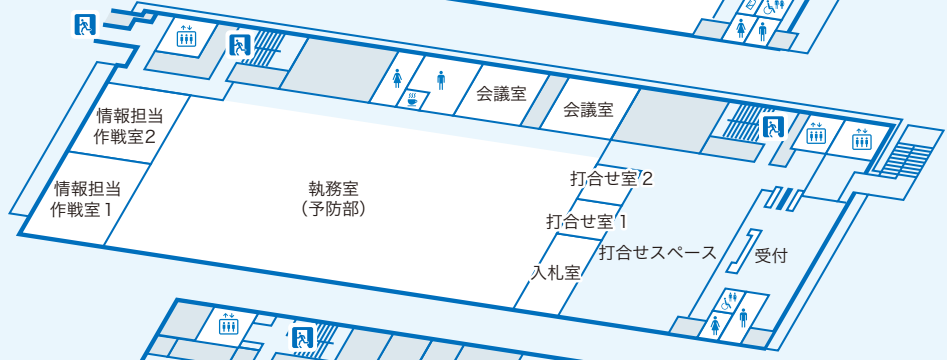
5F



4F



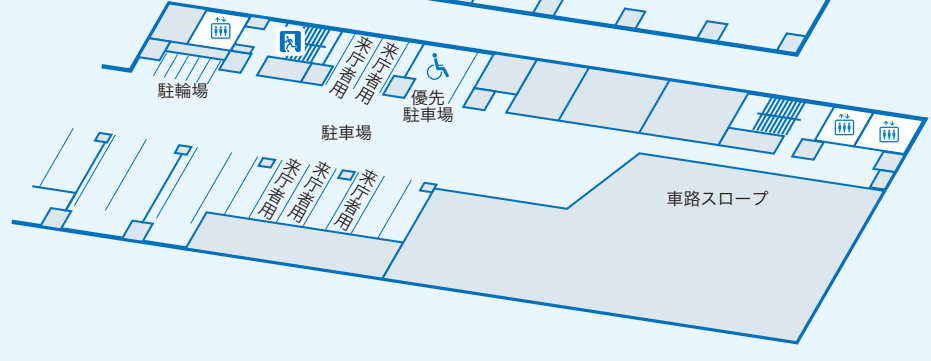
3F



2F



1F



B1F

Reception/entrance

受付・エントランス



受付

エントランス正面には、堅牢な庁舎を印象付けるレンガ調のタイル壁があり、横浜市消防局のロゴを配しています。



セキュリティゲート

職員や入館許可を得た方のみが通行可能とする、入退館管理システムを導入しています。また、車いすの方も通行しやすい位置に非接触型リーダーを設置しています。



打合せスペース（来庁者用）

ペーパーレス化に対応するため、全ての打合せスペースにモニターを設置しています。それぞれのブースは、プライバシーに配慮するため、パーティションで仕切られています。



横浜市消防局
YOKOHAMA FIRE BUREAU

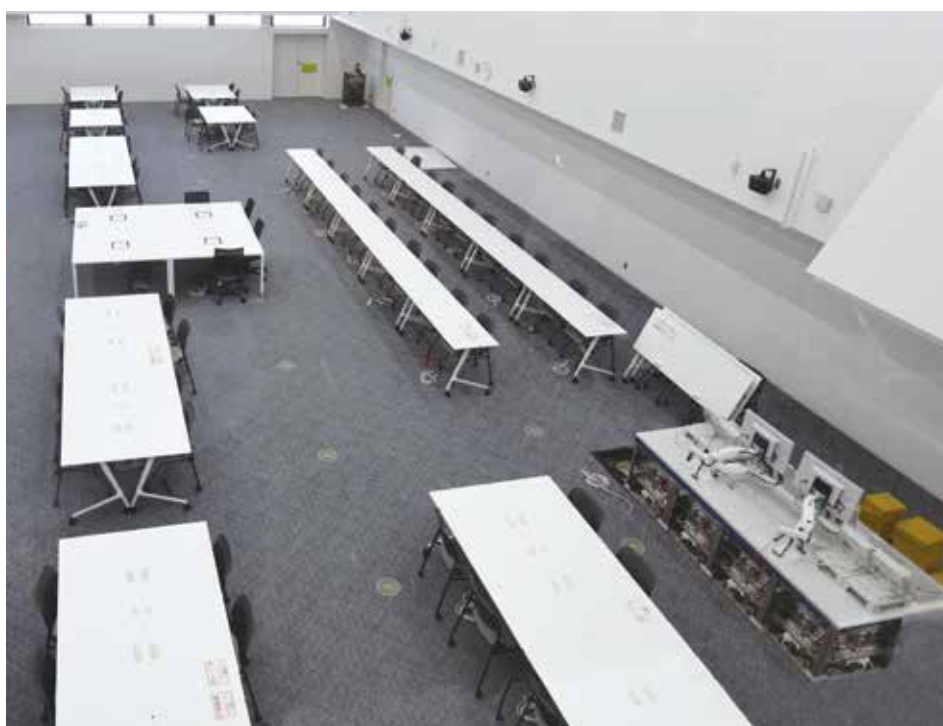
Headquarters function

消防本部機能



本部会議室

本部運営室で集約した情報や災害現場からのリアルタイムの映像等に基づき、消防局長をはじめとした本部職員が、災害対応の方針を決定する場所です。



本部運営室

災害時、迅速な情報共有を図れるように消防司令センターと同じフロアに配置し、本部職員が情報収集や分析にあたります。



消防司令センター

119番通報を受信し、消防署所や消防隊及び救急隊に配置した有線・無線通信ネットワークを駆使して指令を伝達しています。また、災害管制を行う中枢を担っており、16台の指令台を設置しています。



大型モニター



指令台

Function introduction

防災機能



免振装置

1階と2階の間に減衰コマと油圧ダンパーによる免震装置を設置し、免震層上部の揺れを低減させることで建物への被害を最小限に防ぎ、業務の継続性を確保しています。



自家発電設備

3基（高圧2基、低圧1基）の非常用発電機を設置し、停電時に備えています。また、非常用燃料は40,000L備蓄し、7日間電力供給が可能です。



ヘリパッド

大規模災害発生時に他都市から派遣される緊急消防援助隊等を迅速に受け入れるため、ヘリコプターが離着陸することができる飛行場外離着陸場を屋上に整備しています。



Work environment

執務環境・新しい働き方



ワークブース

WEB 会議や 1 on 1 ミーティングなど、様々な場面で使用されます。



コミュニケーションエリア

職員の自然な交流を生み出し、コミュニケーションを活性化するため、いつでも自由に利用できるエリアです。打合せや作業スペースとして利用するほか、昼休みなどの休憩時間にも利用します。



フレキシブルレイアウト

消防庁舎では先進的となる ABW の思想を取り入れたレイアウトとしています。
ABW とは、Activity Based Working の略で、仕事の内容や目的に合わせて、
働く「場所」を自由に選択することが可能です。



フェイクグリーン



打合せスペース用モニター



集中ブース



窓側席





建築概要（本館）

敷地面積	3,247.18 m ²
延べ面積	11,412.54 m ²
建築面積	1,528.24 m ²
最高高さ	30.87m
構造	免震構造（1階柱頭部中間層免震） RC造、一部PRC造、一部SRC造
工期	令和2年12月から令和5年7月



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

横浜市消防局

YOKOHAMA FIRE BUREAU

〒240-0001

横浜市保土ヶ谷区川辺町 2 番地 20

相模鉄道 星川駅 下車 徒歩 2 分

